

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》	2026年度 春季
専門科目 (人文地理)	博士後期課程《一般・社会人》 研修生	

【1】

《解答又は解答例》

問1 (1) プトレマイオスの世界地図

プトレマイオスは、2世紀頃にアレキサンドリアで活躍した地理学者である。彼が作成した世界地図は、単円錐図法に類似した投影法で表現され、当時のヨーロッパ人の世界像を表現しているとされる。描かれた範囲は、ヨーロッパ、北アフリカ、西アジア、インド、東南アジアなどそれまでの地図にはない広範囲であった。

(2) 環境決定論と環境可能論

環境決定論は、自然環境が人間活動を規定するという見方である。ドイツの地理学者であるラッツェルの『人類地理学』に大きな影響を受けたセンプル

(Semple,E) や気候学者のハンチントン (Huntington,E) 『気候と文明』が有名である。

環境可能論は、自然と人間の関係は、人類社会の社会的条件や歴史的発展に即して、相対的に考察すべきであるという論である。フランスの地理学者であるブラーシュ (Blache,V) が主張した。著作は『人文地理学原理』が有名である。

(3) 風水思想

風水とは地形や空間の吉凶判断をして適切な場所や方位を選ぶ方法である。中国由来の思想であり、気や脈、周易、陰陽五行説などが基盤である。中国では、古代の長安や洛陽、日本でも平安京や江戸の立地に影響を与えたとされる。

(4) 文化的景観

地域の自然と人間活動がまじりあうことで作りあげられた景観のこと。2005年の文化財保護法改正により加えられた。特に重要なものとして、国が指定する「重要文化的景観」がある。第1号として、滋賀県の近江八幡の水郷が選定された。

問2 解答例① ブラジルへの日系移民

ブラジルには日系人が多い。20世紀初めから国の政策により、日本からの移民が始まった。それまでは日本人の移民の多くはアメリカ、特に西海岸を中心だったものの、アメリカにおける日本人排斥の動きが強くなったことにより、アメリカへの移民は制限されてしまった。ブラジルでの日本移民は、農園などで契約労働者としては働き、いずれは日本に帰国する予定だった。しかし、過酷な労働環境で逃げ出すものも多く、その後、自らの土地を取得して農業を営み、移民同志での協力体制もあり、成功者も増える。第二次世界大戦ではアメリカほどの迫害はなかったものの、日本人移民は苦悩した。戦後は、政府

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	2026年度 春季
専門科目 (人文地理)		

の支援策によるさらに多くの移民がわたり、大きな成功を収める日系人もいた。日系人はブラジルでは高い評価を受けている。

解答例② パレスチナ難民

1948年にイスラエルの建国宣言を受けて、第1次中東戦争が始まった。その際に多くのパレスチナ人が故郷を追われ、難民となってシリア、レバノン、ヨルダンなどの周辺地域に逃れた。周辺地域に逃れた難民の多くが、無国籍の状態で、難民キャンプにおける居住を余儀なくされている。現在、イスラエル軍に攻撃されている「ガザ地区」も、難民キャンプが多く、パレスチナ難民が数多くいる場所である。パレスチナは「ヨルダン川西岸地区」と「ガザ地区」に分かれており、パレスチナ自治区ではあるが、国家ではない。

《出題の意図》

人間と自然や環境の関係をどのようにとらえるべきかという地理学の考え方に関する基本用語や、移民と難民というに言葉の違いを理解したうえで、グローバルな地理学的課題への関心と知識を問うことが出題の意図である。

【Ⅱ】

《解答又は解答例》

問1 都市圏を中心都市と郊外地域とに分けて、それら地域の人口増減によって、都市の発展段階を都市化の段階、郊外化の段階、反都市化（逆都市化）の段階、再都市化の段階に区分するモデルである。欧米の大都市圏の動向をもとに帰納的に考えられたモデルである。都市化の段階では中心都市の人口が、郊外化の段階では郊外地域の人口が増加して都市圏全体の人口も増加するが、反都市化の段階では中心都市の人口が、再都市化の段階では郊外地域の人口が減少し、都市圏全体の人口も減少することになる。なお、再都市化の段階が進むと再び都市化の段階となることから、このモデルはこれらの段階が繰り返し起こることになる。

問2 日本の都市（都市圏）では人口動態から、反都市化は生じなかったと指摘されている。それゆえ、日本ではこのモデルにある反都市化ならびに再都市化の段階には進んでいかなかった点において齟齬をきたしている。

《出題の意図》

本大問は、地理学における基礎的なモデル（都市発展段階モデル）に関する問題であり、そのモデルに対する知識や理解を問うだけでなく、モデルと現実（実態）との整合性や齟齬、現実の

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	2026年度 春季
専門科目 (人文地理)		

都市発展に対する理解を問う狙いがある。

【Ⅲ】

《解答又は解答例》

- 問1
- ・X市の短期間の人口動態をみる必要があるので、住民基本台帳人口のデータを用いて、人口増減数を分析する。
 - ・同データから転出先や転入先についても分析し、コロナがそれら動態の要因であるのかどうか考察する。
- 問2
- ・Y市において食料品の買い物動向調査が行われているのであれば、その調査結果を用いて買い物難民問題が発生している地域を分析する。そのような調査が行われていないのであれば独自にデータを得る必要があるので、住民に対して買い物動向に関するアンケート調査を実施し、その調査結果から分析を行う。
 - ・買い物難民問題が発生する要因を明らかにするために、該当地域の食料品店の出店や撤退、廃業の動態を住宅地図の経年分析や聞き取り調査によって分析する。
 - ・解決の取り組みについて、Y市役所の担当部署やNPO、店舗（スーパーなど）に対して聞き取り調査を実施する。その上で、それら取り組みの実効性について考察を行う。

《出題の意図》

本大問は、研究調査を行う上での基礎的な方法論の理解を問う問題であり、一般的な研究課題に対して適切な調査方法や資料、調査対象を理解・判断できるか問う狙いがある。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻	2026年度 春季
専門科目 (自然地理)	修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	

【1】

《解答又は解答例》

問1 沖積低地は、最終氷期最盛期（1.8万年前）以降、地球規模の温暖化により主に北半球の氷床が融解し、海水量が増加したため、海水準が上昇した。これを後氷期海進、日本では縄文海進とよばれている。これにより、特に内湾に海水が浸入し、その過程で河川によって形成された氷期の沖積平野を覆うように、海成層が内湾奥深くまで堆積した。この過程が7000年前くらいまで継続し、海岸線は内湾奥深くまで後退したが、海水準の上昇が緩やかになるとやがて河口付近では河川による沖積作用と拮抗するようになった。5000年前以降は海水準上昇が停止、もうしくは海退傾向にはいると、河川による沖積作用によって三角州が前進し、その過程で内湾の海成層が河成の堆積物に覆われていき、現在見られる沖積平野が成長していった。

問2 1) 砂嘴

沿岸流により運ばれた漂砂が静水域で堆積して形成される、嘴（くちばし）形の地形のこと。形態により鉤状砂嘴、複合砂嘴などがある。

2) 自然堤防

河成堆積地形、微地形の一種で、河川の流路に沿って形成される微高地をいう。洪水を繰り返す河川の下流部で発達し、氾濫原に限らず扇状地や三角州などにも分布する。

3) 土石流

土石が河川の水と混合して、河川・溪流などを高速に流下する現象のこと。溪流沿いで発生する土砂災害の代表的なものである。流下する物質によって泥流、土流ともいう。

4) 溶岩ドーム

火口から粘度の高い流紋岩質の溶岩が押し出されて、流下することなくその場で固化して形成された、ほぼドーム状の地形。溶岩円頂丘ともいう。

5) モレーン

氷河が谷を削りながら流下する過程で削り取られた岩石・岩屑や土砂などが、氷河の側面や末端に土手のように堆積した地形のこと。堆石、堆石堤ともよぶ。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	2026年度 春季
専門科目 (自然地理)		

《出題の意図》

地形学およびそれに関連する第四紀学に関する基本的知識や考え方が身に付いているかを確認する。

【Ⅱ】

《解答又は解答例》

問1 中緯度砂漠：大気大循環の中緯度高压帯において、年中、暑く乾燥した大気が下降するため、砂漠が形成される。サハラ砂漠。

海岸砂漠：沖合を寒流が流れ、寒流で冷やされた大気が海岸に流入し、霧は発生するが、上昇気流とならないため、降水は非常に少なく、砂漠となる。アタカマ砂漠。

内陸砂漠：大陸内部のため、海岸から遠く、水蒸気を含んだ大気が到達しないため、砂漠が形成される。オーストラリア砂漠。

雨陰砂漠：標高の高い山脈の風下側に形成される砂漠。山脈の風上側では、降水現象ともない上昇気流となるが、風下側では乾燥した大気が下降するため。タクラマカン砂漠。

問2 砂漠化とは、乾燥、半乾燥および乾燥半湿潤地域におけるさまざまな原因（気候変動や人間の活動を含む）による土地の劣化のことである。つまり、砂漠化とは、主に乾燥地域で、人が住んでいるところや植物の生えているところが気候変動や人間活動により不毛の大地となることである。

砂漠化の原因は、気候的要因と人為的要因の2つに大きく分けられる。

気候的要因は、広域的な海面水温に起因する大気大循環の変動により降水量減少や地域的な地表面状態の変化などがあげられる。

人為的要因は、人口増加や社会・経済的な要因による過放牧、薪炭材の過剰採集、過開墾、不適切な水管理による塩類集積などがあげられる。

砂漠化への対策として、砂漠化の防止と生態系の回復、持続的農業技術の発展などがあげられる。

砂漠化の防止については、リモートセンシング技術により、どの地域でどの程度の砂漠化が進行しているのかについて現状把握を行うことである。また、生態系の回復とは、砂丘の固定や植林などである。持続的農業技術とは、点滴式の灌漑や塩類集積した土壌の改良、暗渠排水、乾燥や塩分に強い作物の開発などがあげられる。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	2026年度 春季
専門科目 (自然地理)		

《出題の意図》

気候学を中心とした自然地理学に関する基本的な知識や考え方が身に付いているかを確認する。

【Ⅲ】

《解答又は解答例》

問1 1) 流況曲線

河川の流量の年間変動の特徴を示すための曲線。日平均流量を、大きいものから順番に降順に並べてつないだ曲線。ただし、かつては、全てをつないだ曲線ではなく、最大流量・豊水流量・平水流量・渇水流量・最低流量をつないだものが流況曲線として利用されることが多く、今でも、それぞれの流量値のポイントを示し、強調して示すことがある。現在の日本の流量観測は、自記録計により10分単位で測定した水位から時間平均水位を算出し、その24時間平均値から日平均水位をもとめ、観測地点で年間・様々な流量時に現地観測された流量地と水位との関係からH-Q曲線（水位流量曲線）を算出し、日平均水位から日平均流量を求めている。また、流量の異なる他の流域と比較するためには、100km²単位の面積当たり流量である比流量を用いた、比流況曲線で示すことが多く、あわせて、最大比流量から順番に比流量を累加した累加比流況曲線を示すことも多い。

2) 地中水

地下水は、大きく不圧地下水と被圧地下水に区分されるが、不圧地下水の賦存機構を理解するためには、土層の三相構造や通気帯（不飽和帯）における水の挙動について理解することが必要である。地表面下の土層は、固（土粒子）相・気相・液（水）相の三相からなり、一般的には、固相を除いた空隙中の割合は、下に行くほど水の比率が高くなり、ある場所から、全ての空隙が水で満たされた飽和帯が形成される。一般用語とは異なり、地下水学（水文学）では、この飽和面以下の水を「地下水」といい、地表面化の通気帯中の水も含めた水の総称を「地中水」という。

3) 温帯湖

湖沼の分類には、大きく分けて、①成因による分類（水の器である湖盆形態などが規定される）、②熱による分類（湖水面温度4℃を基準として熱帯湖・温帯湖・寒帯湖に分類され、湖水の循環に大きくかわる）、③栄養による分類（比調和型と調査和型にまず区分され、調和型は貧栄養湖・中栄養湖・富栄養湖に分かれる）の3つの区分で示され、温帯湖は、熱による分類の中で、湖水面温度が、年間を通じて4℃よりも高くなる時と低くなる時がある湖沼という定義で、日本の湖沼のほとんどは温帯湖

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻	2026年度 春季
専門科目 (自然地理)	修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	

で、世界でも最も多い。年間で、湖水面の温度が4℃をまたぐということは、淡水で最も密度が高くなる温度をまたぐということで、その前後で湖水の鉛直循環が生ずるため、多くの温帯湖では春と秋に2回の全層循環が発生するが、上下の温度差があまりない場合などで、循環が1回しかない湖沼も存在する。

4) 季節雪氷圏と温暖積雪域

地球上の水のうち、約2.5%が陸水と考えられているが、そのうち約70%が雪氷であると見積もられており、大半が永久雪氷圏で、約90%が南極、9%がグリーンランドにあるといわれている。氷河なども量の上では少ないが、夏場は雪が存在しない季節雪氷圏も広く存在し、陸水学的には重要である。日本には、永久雪氷圏である氷河はほとんど存在せず、高山に越年する雪渓が分布する程度であるが、冬季のみ積雪のある季節雪氷圏は、日本海沿岸や高山を中心に広く分布している。地球規模でも同緯度の他地域に比べて降雪量が多いのは、日本海を流れる暖流である対馬海流が、冬季にも大気中に多くの水分を供給することと、冬季の典型的な西高東低の気圧配置により、シベリヤの極低温の寒気が日本海を超えて日本列島の脊梁山脈に向けて吹いてくることによる。

従って、寒気のぶつかる脊梁山脈の風上側に多くの積雪をもたらすが、山を越えた風下側や、山まで距離のある平野部でも降雪が多いのが、日本海沿岸の降雪の特徴である。

また、同じ季節雪氷圏でも、地域によって融雪現象は異なり、北海道などの寒冷積雪域では、融雪は春先にまとまって生じるのに対し、新潟などの温暖積雪域では、冬季の間、天候によって、降雪・積雪・融雪を細かく繰り返すため、融雪現象は複雑である。

5) 赤潮と青潮

日本は海に囲まれているため、陸域の環境変化が、河川水や地下水を通じて広く海域に影響するが、内湾などの閉鎖性水域では、特にその影響が大きい。かつては、様々な汚染物質や栄養塩が流れ込んだため、夏場を中心に、プランクトンの異常発生による赤潮の問題が大きく、水温躍層によって形成された貧酸素水塊が海底の堆積物から溶出させた物質が原因となる硫化水素が、吹送流で生じた湧昇流で海面に現れるという青潮の害も頻発した。

しかし、水質汚濁防止法などの規制により、河川水中の汚濁物質は減少し、海水中の栄養塩も少なくなって、赤潮や青潮の発生頻度は減ったが、逆に、貧栄養化によって海藻などが無くなる磯焼けや、海水中の窒素とリンの濃度比の変化による有害なプランクトン発生などの問題が生じている。

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	2026年度 春季
専門科目 (自然地理)		

また、瀬戸内海西部などでは、中国からの栄養塩が越境汚染で流れ込んだことが原因となるコクロによる赤潮発生など、新たな問題も生じている。

問2 日本列島は、4つのプレートがぶつかる新期造山帯に位置し、複数の島弧が重なり合った細長い形をしており、東北地方の脊梁山脈に代表されるように、中央部に比較的高い山地・山脈があるため、河川の流路長は短く急峻な河川が多い。また、火山も多いため、流域形状に火山の影響が強く現れる河川も多い。人口の多くは、河川が作り上げた平坦な地形である下流域や谷あいの沖積低地に集中するが、断層などの地盤変異の関係などで発達した内陸部の盆地や、河川が山地から平野に出るところに形成された扇状地にも多くの人々が住んでいる。つまり、河川流域の中でも、氾濫や地殻変動によって形成された緩傾斜地に人は多く住んでいるため、自然災害の影響も強く受ける。

また、地球上でもっとも大きな大陸であるユーラシア大陸の東に弧状に分布する島国であるということから、モンスーンの影響を強く受けており、梅雨・台風・降雪の影響が大きく及んだ降水現象の特徴がある。従って、大きく分けて、太平洋側と日本海側で、年間の流量の変化に大きな差があり、治水や利水の観点からも、それぞれの地域の河川の特徴を踏まえた河川管理が求められている。

問3 日本の地下水問題は、大きく、①量の問題、②質の問題に分けられる。不圧地下水の量的問題では、都市化や土地利用の変化による涵養域の減少から、地下水位が下がり、地下水利用が困難になる現象が全国各地に発生しており、被圧地下水の水位低下の影響が不圧地下水に及んだ例もあり、地下水揚水規制による被圧地下水の水位回復により、不圧地下水の水位も上がり、水位低下時に建設した地下構造物が浮き上がる現象などの問題も生じている（JRの駅など）。一方、被圧地下水では、過剰揚水による水位低下とそれに伴う地盤沈下が長年問題となっており、揚水規制によって地下水位は回復しても、沈下した地盤はほとんど回復しないことから、規制が地盤沈下地域を広げてしまう（千葉⇒埼玉⇒茨城・群馬など）ことにもつながり、地下水賦存特性を理解した水資源開発の在り方が問われている。

また、沿岸域では、過剰揚水が引き起こす水位低下が地下水塩水化という質の問題にもつながっており、富士岳南地域のように、地下水資源に支えられた地域産業（岳南の場合は製紙産業）の観点から、加害者と被害者が一致することにより、加害者自らが規制する「地下水利用協議会」などが世界に先駆けて作られるなど、サステナブルな地下水管理が、地下水の量と質の問題を解決してきた事例もある。

他の質的汚染では、かつて大きな問題であった「有機塩素系溶剤汚染」は、様々な規制により沈静化したものの、規制がまだ十分でない「PFAS汚染」問題が全国に広がっている。しかし、潜在的な地下水汚染はその他にもあり、農業の影響による窒素化合物質に

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	人文科学研究科 地理学専攻 修士課程《一般・外国人・社会人》 博士後期課程《一般・社会人》 研修生	2026年度 春季
専門科目 (自然地理)		

よる汚染や、環境基準に含まれていない物質による工場排水の問題などは、全国各地に存在する。

《出題の意図》

海洋・陸水学・水文学に関する基礎知識とその応用である諸課題に関する理解を問うことが目的である。